

最終更新日： 2026年4月7日

授業科目名 (講義題目)	組織行動			開講学期	後期
				曜日時限	木曜 I 限
				単位数	2
担当教員名	碓 邦生	講義コード	科目区分	対象学生	
		26176108	選択	1年生 / 2年生	
開講予定日	①10/1 ②10/8 ③10/15 ④10/22 ⑤10/29 ⑥11/12 ⑦11/19 ⑧12/3 ⑨12/10 ⑩12/17 ⑪12/24 ⑫1/7 ⑬1/14 ⑭1/21 ⑮1/28				
履修条件	特になし	キーワード	組織行動論、産業組織心理学、モチベーション論、キャリア、従業員エンゲージメント、ダイバーシティ		
全体の教育目標	本授業では、組織における「ヒト」に関する課題を、組織行動論の基礎理論に基づいて分析し、具体的な施策として設計できる力を養うことを目的とする。	個別の学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・組織行動論の理論を理解し、適切な用語の使い方ができるようになること ・実務上の課題に対して、組織行動論の理論を用いて解決策を考えること 		

授業の概要	本授業では、組織における「ヒト」に関する課題を、組織行動論の基礎理論とCreative Problem Solving (CPS) を統合しながら設計可能な対象として捉える力を養う。偶数回は理論講義、奇数回はCPS Studioとして、課題分析から施策設計までを往復的に学習する。
授業の最新情報 案内方法	<ul style="list-style-type: none"> ・九州大学Moodle ・その他 (LARK)

授業形態	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義・演習 ・ プレゼンテーション ・ ディスカッション ・ その他（LARK上での意見交換） 	使用する 教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・ スライド資料（電子媒体） ・ 映像・音声資料
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的には、知識を習得して専門知識を暗記するより、正解のない問いに対して学習した理論を活かしながら自分なりに考え、答えを導く思考力を鍛えることに重点を置いたプログラムとなっています。 ・ 各回の事前課題：九州大学Moodle上にアップロードされている課題に取り組んでもらいます。基本的には各回のテーマに沿った学術論文を読みこんでいただきます。 ・ 各回の授業の初めに、事前課題を用いたグループ議論を行います。そのため、事前課題をせずに授業に臨むことがないよう、ご注意ください。 ・ 理論について解説しているときにも、適宜、受講生の様子をみながら質問を投げかけたり、短い時間のディスカッションを織り交ぜていきます。短い時には1分以内で自分の考えをまとめる瞬発力が求められることもありますのでご注意ください。 ・ 毎回、講義後にディスカッションテーマを出すので、LARK上で議論に参加してください。LARK上での議論の参加は任意ですが、参加することで評価が加算されます。なお、授業に参加しただけでは評点にはならないのでご注意ください。 		
教科書及び 参考図書	<p>偶数回は基礎理論の講義、奇数回はCreative Problem Solvingワークショップを実施する。Sense→Structure→Create→Testのサイクルを回しながら、理論を実務設計へ接続する☒</p> <p>【参考文献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開本浩矢（編著）（2014年）『入門組織行動論』中央経済社。 ・ 山口裕幸ほか（2020年）『経営とワークライフに生かそう！産業・組織心理学』有斐閣。 ・ Isaksen, S. G., Dorval, K. B., & Treffinger, D. J. (2011). Creative approaches to problem solving: A framework for innovation and change (3rd ed.). SAGE Publications. 		
試験・成績 評価の方法等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前課題の読み込みとディスカッションへの参加（60%） ・ 期末レポート（40%） 		